

木造住宅の被災原因

地震で建物が被害を受ける原因はいろいろあります

耐力壁の不足や片寄り



耐力壁(筋かいが入った壁等)が少なかったり片寄っている建物は大きな被害を受ける可能性があります

屋根の重量過大



屋根をあまり重くすると大きな被害を受ける可能性があります

上下階のバランスの悪さ



一階部分が車庫・ピロティーになっていたりすると、建物バランスが悪く大きな被害を受ける可能性があります

基礎の不備



地盤が悪く建物基礎も弱い場合、大きな被害を受ける可能性があります

建物の老朽化



建物が老朽化していたりシロアリ被害を受けていると、材料の強度が低下し大きな被害を受ける可能性があります

■ 軟弱地盤・埋立地など地盤が悪い所に建つ木造住宅は、地震のとき、大きな被害を受けるおそれがあります

■ 崖の付近あるいは斜面に建築されている場合は、地面が崩れて、建物に被害を受ける恐れがあります

阪神・淡路大震災では犠牲者の約8割の方が家屋の倒壊により圧死されました。

